

低照度色覚と加齢

社会保険中京病院 眼科 主任部長 市川 一夫

高齢化社会を迎え、高齢ドライバーも増加している。私どもは、視力(1.0)以上あり、眼科的に正常範囲にあると診断された3歳から90歳までの2万名以上の色覚を調べ、視力が正常であっても、加齢により色覚は低下し続けていることを報告してきている。また、白内障手術対象者ではあるが他に異常のない高齢者の瞳孔の大きさについても調べ報告している。これらのデータから、高齢ドライバーにおいては非

高齢正常者とはことなる視機能状態が示されている。トンネル照明には、高圧および低圧ナトリウムランプ、蛍光灯ランプなどで照明されているが、これらの照明条件で高齢者においても十分か否かと、トンネル進入の距離により照明の明るさが変化するよう設計されているがこの設計が高齢者でも十分であるか否かについても、私見をまじえて今回の講演でお話ししたいと考えている。